

としょかんくん

No.149
ふゆ号



冬の楽しむ

冬がやってきました。寒くて、雪も降っているから、外であそべない！こんなふうにいるお友だちはいませんか？冬でも楽しくすごせる本をしょうかいしますよ！

あそび・スポーツで楽しむ



冬の楽しいあそびをたくさんしょうかい。

『かこさとしあそびずかん
ふゆのまき』

かこ さとし / 文・絵
小峰書店 (781 カ)



ゆびでペタペタ。しもんで楽しい絵がかけるよ！

『しもんスタンプでかいてみよう』

エド・エンバリー / さく
偕成社 (726 エ)



室内で楽しくあそべる昔のあそび。

『やってみよう!むかしのあそび 2 けん玉』

日本けん玉協会 / 監修
ポプラ社 (384 ヤ)



スキー初心者におすすめ。

『やってみよう!スキー』

野沢温泉スキークラブ / 著
ベースボール・マガジン社
(784 ヤ)

スイーツを楽しむ



かんたんに作れるおいしいスイーツをしょうかい。

『10分スイーツ カンタンなのに
かわいい★ 秋・冬』

しらいし やすこ / 著 小澤 綾乃 / 著
理論社 (596 シ)

寒い冬を、元気に
楽しくすごそう！



ぶ た い な が お か 舞台は長岡!



わたしたちの住んでいるまち、長岡が舞台になっている物語を読んだことがありますか。図書館の郷土資料のたなを見てみると、意外にたくさん本があることがわかります。いつも通っている道や、知っているたてものなど、見おぼえのあるけしきが本の中に出てくるかもしれませんよ。



『忍サノスケじいさん わくわく旅日記⑱ やさしいやまなばの巻』
なすだみのる／作
あべはじめ／絵
ひくまの出版 (キ913ナ)

一郎太は、一人で遊びに行ってしまったサノスケじいさんを追いかけて「タイムメモリン」で山古志にやって来ました。「タイムメモリン」は、好きな場所へ行くことができる便利な機械ですが、時間せっていをまちがえて、2004年10月の山古志村へ来てしまったのです。牛をつれた少年と友だちになった一郎太ですが、とつぜん足元がぐらぐらとゆれて・・・!



『すすめ! じよせつきかんしゃ』
みねむらかつこ さく え
峰村 勝子／作・絵
福音館書店 (絵本ミ)

雪がたくさん降ると、線路に雪がつもって新幹線や電車が走れなくなってしまいます。そんなときは、じよせつきかんしゃの登場。線路につもった雪を力強くかきわけて、新幹線や電車を通します。絵本が出た当時 (1988年) 日本に3台しかなかった超大型スーパーじよせつきかんしゃを、新がたてつどうかんりきょくながおかうんてんじよゑんじよに取材してえがかれたお話です。



『はしれ! チビ電』
もろはしせいこう／さく
童心社 (キ絵本モ)

『とべ! カーピー』
もろはしせいこう／作・絵
鈴木出版 (キ絵本モ)

ひろったダンボール箱を電車に作りかえたり、木からおこちたカラスのひなを親ガラスのもとに帰したり。2冊とも、小学生の子どもたちが大かつやくするお話です。なんとなく見おぼえのある長岡のまちが、あちこちに出てきます。おうちの人といっしょに場所をさがしながら読んでみるのも楽しいですよ。



『やさしい花火 シベリア ねむる友たちへ』
かみじょう さなえ／作
岡本 順／絵
PHP 研究所 (キ913カ)

毎年8月2,3日は、長岡大花火大会が催される日です。誠のおじいちゃんは地元長岡の花火師。毎年大きな花火を打ち上げて、人々を楽しませています。そんな誠の家に、外国から一通の手紙が舞いこみました。それは、戦争中おじいちゃんがほりよとしてすごしたロシアという国から来た、日本の花火を打ち上げてほしいというお願いの手紙でした・・・。長岡花火に関わる人々のさまざまな思いがえがかれています。

★★★ としょかんくんクイズ ★★★

今回は、長岡にちなんだクイズを出題します。いくつわかるかな?

- 家のながながが長くなっていて、その下が通れるようになっている通路のことをなんという? 雪が深い地方の家のとくちようだよ。
①のきした ②がんぎ ③ゆきみち
(『父さんの小さかったとき』塩野米松／文 松岡達英／絵 福音館書店より)
- 長岡大花火大会で打ち上げられる三尺玉は、約何キログラム?
①約100キログラム ②約200キログラム ③約300キログラム
(『やさしい花火 シベリアにねむる友たちへ』上条さなえ／作 岡本順／絵 PHP 研究所より)
- 信濃川は、新潟県に入る前は何川とよばれている?
①千曲川 ②渡良瀬川 ③利根川
(『しなの川』鶴見正夫／文 黒井健／絵 PHP 研究所より)

★★★ 他にもこんな本があります ★★★

- 『雪の夜に語りつぐ ある語りじさの昔話と人生』 笠原政雄／語り 中村とも子／編
福音館書店 (キ388カ)
- 『父さんの小さかったとき』 塩野米松／文 松岡達英／絵
福音館書店 (キ384シ)
- 『じゃがいもを盗んだ話』 峰村剛／著 木村保夫／絵
考古堂書店 (キ913ミ)
- 『哲夫の春休み』 斎藤惇夫／作 金井田英津子／画
岩波書店 (キ913サ)
- 『しなの川』 鶴見正夫／文 黒井健／絵
PHP 研究所 (キ絵本ク)
- 『山古志村のマリと三匹の子犬』 桑原真二／著 大野一興／著 ikko／絵
文藝春秋 (キ916ク)

※ () 中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。



野本恭八郎は、江戸時代の終わりごろに今の小国地域で生まれました。実業家や政治家として活やくし、いろいろな人とかかわりあう中で、「互尊独尊」（自分もまわりの人も大切に生きていこう）という考えにたどりつきました。そして、この考えを広めるにはまず教育が大切だとして、自分のお金で図書館をつくってほしいと長岡市に申し出ました。それが「互尊文庫」です。

それからおよそ100年。今もなお、互尊文庫は親しまれ、毎日たくさんの人々がやってきます。絵にのこされているすがたは少しこわそうなのですが、みんなの幸せのために、一生けんめいはたらいた人でした。

(文書資料室 岡田 佐輝子)

みんなの声



としょかんくん148号読者アンケートの中から、みなさんの声をしょうかいします。

『としょかんくん』148号の感想をひとつ！

★としょリンピックの参加人数が多くて、びっくりしました。

(川崎東小3年 HA・RUさん)

★「ちょっと背伸びの本棚」がおもしろかった。

(信条小3年 ユーさん)

あなたの好きな本、おもしろかった本を教えてね！

★『もぐらバス』佐藤 雅彦／原案 うちのますみ／文 絵 偕成社 (絵本 ウ)

とちゅうででっかいたけのこが出てきたところがおもしろかったです。

(福戸小3年 まゆじるーさん)

★『おにたのぼうし』あまん きみこ／ぶん いわさき ちひろ／え ポプラ社 (絵本 イ)

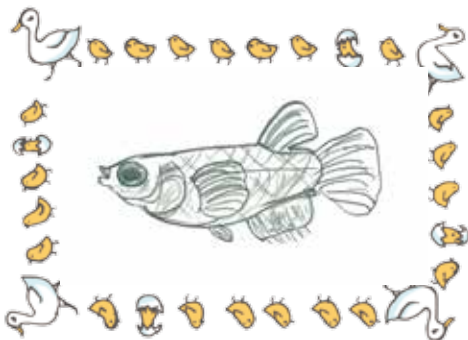
女の子がお母さんにうそをつく場面で、それをおにたが本当にしてしまうところがおもしろかったです。

(大島小3年 A. M さん)

※()の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

☆イラストコーナー☆

すてきなイラストをどうもありがとう！



おちまちしょう ねん
表町小3年 K. Mさん



くろじょうしょう ねん
黒条小3年 おまちゃんさん



ふくとしょう ねん
福戸小3年 シルクロードさん

としょかんくんクイズの答え Q1 : ② Q2 : ③ Q3 : ①

平成29年1月1日 発行

編集・発行：長岡市立中央図書館

印刷：北越印刷(株)

住所：長岡市学校町1丁目2番2号

電話：0258 (32) 0658

ホームページ：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

メールアドレス：lib@city.nagaoka.niigata.jp